

投稿規定

(2004年1月12日制定、2005年12月3日一部改訂)

1. 投稿の内容について

本誌への投稿原稿は、言語聴覚障害領域とその関連領域の学術的進歩に寄与する学術論文を主体とし、他誌に掲載されていないもの及び掲載予定のないものに限ります。

投稿に際しては、著者全員がその旨を了解した誓約書（別紙様式）を提出してください。

2. 倫理について

原稿作成および内容については、対象者の人権に十分配慮し、倫理に適うものであることとします。

3. 著者について

投稿論文の筆頭著者は原則として本協会の会員とします。共著者は本協会会員であることを問いませんが、言語聴覚士の場合は本協会会員に限ります。但し、編集委員会が認めた場合はこの限りではありません。

著者は筆頭著者と共著者を合わせて原則として6名までとします。

4. 投稿区分と長さについて

・論文の区分：原著（症例研究を含む）、総説、短報、その他

・原稿の長さ：本文・図・表・写真・文献を含め400字詰原稿用紙に換算して、原著論文25枚以内、短報15枚以内

図・表・写真は1個につき400字詰原稿用紙1枚に相当するものとし8個を限度とする。

所定枚数を超えた原稿は原則として採用しません。ただし、編集委員会が超過を認めた場合に限り、規定枚数を超える部分の印刷実費を著者が負担のうえ、掲載を許可することがあります。カラー印刷の実費は著者が負担するものとします。

5. 著作権について

本誌に掲載後の著作権は日本言語聴覚士協会に帰属し、掲載後は本協会の承諾なく他誌に掲載することはできません。

6. 引用・転載の許諾について

他の著作物からの引用・転載については、原出版社および原著者の許諾が必要です。予め投稿者本人が許諾を得てください。

7. 投稿原稿について

投稿原稿は本規定および執筆要綱に従うものとします。

8. 英文抄録について

英文抄録は編集委員会が定める校閲者の校閲を経るものとし、著者は英文校閲料を支払うものとします。

9. 採否について

投稿論文の採否は編集委員会で決定します。

10. 著者校正について

原則として1回とします。校正は赤で行い、所定の期限内に返送してください。

11. 別刷りにについて

すべて有料とし50部単位の希望に応じますが、著者の実費負担とします。

12. 投稿原稿の送付について

「原稿」「原稿のコピー3部」「誓約書」を簡易書留にて以下まで送付してください。

<送付先> 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-5-16 霞ビル801

日本言語聴覚士協会 学術誌編集委員会

掲載決定後、原稿を3.5インチのFDまたはMO、CD-R（パソコン機種名、使用ワープロ名、ファイル名、著者名記入）に入れ、印刷された原稿とともに提出してください。投稿された原稿、FD、MO、CD-Rは返却しません。

13. 本規定は改正することがあります。

執筆要綱 2004年1月12日付

1. 論文は和文または英文とします。英文の場合は、英語を母語とする外国人に校閲を受け、所定の校閲証明書を添付してください。
2. 原稿はすべて横書きとし、ワードプロセッサを使用する場合はA4またはB5の用紙を用い、用紙1枚に400の整数倍の文字数を印字し、400字詰原稿用紙に換算した枚数を表紙に明記してください。図、表、写真はそのまま掲載できるものを送ってください。図は、墨または黒インクで清書したものとします。当方でトレースをした場合は実費を徴収します。
図、表、写真の挿入箇所を、本文原稿用紙の欄外に、図、表、写真と朱書き記載してください。また、図、表、写真の説明は別の原稿用紙に一括して記載してください。
3. 原稿の第1頁に、「論文題名」「論文種別」「著者(共著者)の姓名」「所属(科名まで)とその所在地」「筆頭著者の連絡先(住所、電話、FAX、e-mailアドレス)」を明記してください。
なお、著者(共著者)名には振り仮名をつけてください。
4. 原稿の第2頁に、論文の和文要旨を400字以内にまとめてください。
また、要旨の次にキーワードを名詞形で5個以内記載してください。
5. 「英文の題名」「著者(共著者)のフルネーム」「所属とその所在地」「200語程度の英文要旨」「5語以内の英語のキーワード」「筆頭著者の連絡先(住所、電話、FAX、e-mailアドレス)」を英語で明記してください。
6. 本文は原稿の3頁目からで、原著や短報では原則として、はじめに 方法 結果 考察、文献の順に記載してください。
7. 外国語名(人名、薬品名など)は原語のまま用い、ワープロを使用するか、活字体で明記してください。ただし、日本語化しているものはカタカナ書きしてください。学術語はできるだけ訳語を用い、必要に応じて()内に原語を入れてください。数字は算用数字を用い、度量衡単位は、m, cm, mm, cm², ml, l, dl, kg, g, mg, などを使用してください。
8. 論文末の文献は、本文中に引用されたもののみとします。文献の記載順序は著者名のアルファベット順とし、同一著者の場合は発表順とします。引用文献は、原著で30個以内、短報で15個以内とします。
9. 本文中で文献を引用する場合は、引用箇所に著者名と発表年を記載してください。
例:長谷川(2003)によると...、...とされている(井上ら 1998)。
同一著者について同じ年に複数の引用文献がある場合は、年数にアルファベットを付記してください。
例:(2003a, 2003b)。
10. 文献の書き方は統一し、外国雑誌の略名は原則としてIndex Medicus に従ってください。
文献の著者が4名以上の場合は最初の3名を、また編者が3名以上の場合は最初の2名を記載し、他は「.....他」、または「et al」としてください。

雑誌の場合

著者名:論文題名:雑誌名(略名) 巻:最初の頁-最後の頁,発行年度

例 1) Breedin SD, Martin RC: Patterns of verb impairment in aphasia: an analysis of four cases. Cognitive Neuropsychology 13: 51-91,1996

2) 貫名信行: アルツハイマー病脳の免疫組織化学的研究. 神経進歩 30: 932-946,1986

3) 大山玄, 上枝仁美, 中川伸一, 他: 歌唱時の生理的パラメータと音響パラメータの関係についての一検討 - 声門上下圧の検討. 音声言語医学 42:55-58, 2001

単行本の場合

単独または共同執筆の場合

著者名:書名,引用の最初の頁-最後の頁,出版社名,発行年度

例 1) 笹沼澄子, 綿森淑子, 福迫陽子, 他: 失語症の言語治療. pp 60-74, 医学書院, 1993

分担執筆の場合

著者名:題名.論文題名,編者名(編):書名,引用の最初頁-最後頁,出版社,発行年度

例 1) 大井 学: 特異的言語発達障害, 西村辦作(編):ことばの発達と障害 2-ことばの障害入門, 94-100, 大修館, 2001

誓約書

日本言語聴覚士協会 御中

論文名

上記の論文は、下記の者が共同で執筆したものであり、これまでに他の雑誌に掲載されていないこと、あるいは他の雑誌に投稿中でないことを誓約いたします。また、掲載されたものすべての著作権は日本言語聴覚士協会に帰属し、他誌への無断掲載はいたしません。

筆頭著者署名 _____ 印 (_____ 年 _____ 月 _____ 日)

共著者名 _____ 印 (_____ 年 _____ 月 _____ 日)

共著者名 _____ 印 (_____ 年 _____ 月 _____ 日)

共著者名 _____ 印 (_____ 年 _____ 月 _____ 日)

共著者名 _____ 印 (_____ 年 _____ 月 _____ 日)

共著者名 _____ 印 (_____ 年 _____ 月 _____ 日)